

<第4364回>

目的地：高島トレイル前編

担当者：白神

実施日：2023年5月4日(木)～5日(金)

形式：ロングトレイル・テント泊縦走

費用：¥2,340 (JR 京都駅発着) ¥4,600 (タクシーマキノ駅⇒国境スキー場 1人¥1530)

¥220 (バス マキノ高原さらさ⇒マキノ駅) ¥700 (入浴 マキノ高原温泉さらさ) 合計¥4,790

参加者：3名

行程：

4日(天気：快晴)

JR 京都駅(8:15)⇒(9:26) JR マキノ駅(9:40) タクシー⇒(9:55) 国境スキー場・愛発越(10:00)→(11:05) 乗鞍岳北尾根→(11:45) 乗鞍岳[昼食](12:15)→(13:15) 芦原岳(13:30)→(14:40) 黒河峠(15:00)→(15:50) 三国山下テント場[荷物デポ](1→(16:05) 三国山(16:20)→(16:30) 三国山下テント場標高 800m付近[テント泊]

5日(天候：ガス・強風)

テント場(6:20)→明王の禿(6:50)→(7:15) 赤坂山(7:30)→(7:40) 栗柄峠→(8:45) 寒風(8:55) [エスケイプルート]→(11:10) マキノスキー場[入浴・食事](13:21) バス⇒(13:39) マキノ駅(13:50)⇒(14:58) 京都駅

感想：

例会の一週間前位から、天気予報を見ながら気をもんでいましたが、徐々に予報はいい方になっていきました。決断は5月2日。例会実施。

4日、天気は快晴。マキノ駅からタクシーに乗って国境スキー場へ。高島トレイルマップでは愛発越という地名になっています。

ここから全長 80km に及ぶ中央分水嶺の旅がスタート。今回はその半分を踏破する予定。

まずはスキー場のゲレンデを登ります。後から考えてみると、このゲレンデ歩きが一番しんどかったかも。ゲレンデの最上部からは樹林帯の登山道へ。登山道は全体としてよく踏まれていてとても歩きやすかったです。所々から琵琶湖の最奥部が見えます。乗鞍岳山頂の建物の日陰で昼食としました。次のポイントの芦原岳では琵琶湖と若狭湾を同時に見ることができ、中央分水嶺の上に立っていることを実感しました。ルートの多くはブナの林を抜けて行きます。だいたい綺麗な景色の記憶というのは、上書きされていくものですが、今回のブナの新緑、私の一番印象的な新緑の記憶を上書きしました。黒河峠では林道が交差しており、トイレもあります。水場があるとのことだったのですが、その時には見つけられませんでした、マキノ高原のバス停で黒河峠に泊まったという方に聞いたところ、林道を少し琵琶湖側に下りたところにあるとのことでした。黒河峠から三国山までの間には水量豊富な沢が数ヶ所あり、水の調達にはそれほど苦労しない感じです。トレイルのルートから少しはずれて、三国山へ向かう途中で少し登山道が開けた場所があり、そこを本日のテント場としました。そこに荷物をデポして、三国山へ向かいました。テント場に帰ってきた後、容器を持って水汲みへ。トレイルの本線に合流して少し黒河峠側へ行った所の沢で水を調達。木の間から朧月夜に照らされたテント場で食事を取って、それぞれのテントで今日一日の疲れを癒しました。

明け方から風がかなり強く吹いていたようです。木々の上の方では結構大きな風の音がしていました。ただテント場付近はほぼ無風状態でしたけど。朝 5 時前にテントを出てみますと、あたり一面ガスに覆われていました。幸いテントが濡れるほどではなかったようです。予定より少し早い 6 時 20 分に出発。樹林帯ではそうでもなかったのですが、稜線の開けた場所に来ると、風がきついです。明王の禿、赤坂山過ぎて少し行くと、なんかちょっと見覚えのあるような鉄塔が現れました。昨年 1 月に雪山例会で赤坂山を目指したとき、引き返すことを決めた場所です。鉄塔を過ぎて栗柄峠で、メンバーの意思を確認。このまま例会を続けるか、撤退するか。答えは、続行。寒風を目指してさらに歩を進めましたが、風はさらに強くなるばかり。視程も 30～50m といったところでしょうか。耐風姿勢をとって暫く待たないといけないというほどではなかったのですが、結構風にあおられながら、樹林帯のなかで一息つきました。ここで再度意思の確認。全員一致でエスケイプを選択しました。

エスケイプルートは、寒風からマキノ高原へ下山するルートです。エスケイプルートに入ってからしばらくすると風もなくなり、ガスも晴れてきました。徐々に回復してくる天候に、少し複雑な心境になりつつ、マキノ高原の手前、昔のスキー場の斜面に座って、ガスの晴れたトレイルの稜線を見上げながら、再チャレンジを誓ったのは言うまでもありません。(白神記)

1 日目。気持ちの良い快晴。見晴らしのよい場所では琵琶湖や若狭湾がときおり見えました。半袖で登っても汗がしたたり落ちる気温でした。

2 日目。早朝に一段気温が下がったようで冷え込みました。テントから出ると一面ガス。さらに強風が加わ

りました。ガスも晴れず、強風も止まず。出発から2時間半ほど歩いたところで撤退を決めました。残念ですが2日間で6つほどピークを踏めたのでよしとしました。早朝と日中の寒暖差、遠くまで見えた1日目とガスの中の2日目、煮沸して飲んだ高島の沢の水。山も楽しめたけど、自然もしっかり楽しめた2日間でした。（S記）

いつか行きたいと地図だけ買っていた高島トレイル、例会してくれはるんや、やった～！お天気も回復して4日出発、しかしテント泊の荷物は重く、国境スキー場を登るとき、遮るものもなく汗だらだら、もうへろへろ。しかし、登ってしまうと、何と美しい新緑のブナの木々、所々に琵琶湖、若狭湾と両方に景色が見え、今、中央分水嶺の上を歩いているんだと、ワクワクしました。残念ながら、寒風で下山になりましたが、温泉にも入れて、次回の楽しみも出来ました（I記）